

みんなが考えまい!

# 蒲郡のまちづくり

～都市計画マスタープラン～



みかん仙人 すなメリー

みんながまちづくりに関わっていいからいいよね。

ほうじゃな。都市マスタープランでまちづくりの方針を決めても、みんなの協力がないと、住みよいまちになっていかんでのん。まちの魅力をもっと増やすにゃ、住んどる人や働

いとる人、蒲郡に関わつとるすべての人が、できることからまちづくりに参加せんとあかんのじゃ。

じゃあ、何をしたらいいの？  
話し合いの中でも、「市民が参加できることを入れとくれん」と提案があつ

ての、みんなができる具体的なことが話し合われたんじゃが、主なもんはと言うと…

① 快適・安全なまちづくり

☆災害の時に助け合える仲間をつくる

☆里山などに不法投棄をさせないよう見回りをする

② 自然環境の保全・活用

☆ゴミを減らし、ゴミ出しのルールを守る

☆近所の道路の草刈りやゴミ拾いをする

③ 産業の育成と振興

☆地元の魚や野菜を食べる  
☆建物の外観に気を配って、まちの景観を良くする

☆市民自ら観光客となって蒲郡のまちなか散歩を楽しむなど、みんながちいと気いつけりやできることばっかりなんじゃ。

ボクにもできそうなことばっかりだね!

難しく考えんと、やれることからやってみよう。

計画開発課 ☎66・1142



## 水族館



学芸員 小林龍二

「灯台下暗し」

毎日の生活で目にしていない身近なもの、実はよく知らないということが意外に多くありませんか。例えば、パソコンでインターネットがどのような仕組みで見られるのかとか、腕時計の針がなぜ正

確な時間を刻めるのかなど…。

魚についても同じで、ピラニアやシーラカンス、マグロなどは知っていても、目の前の三河湾にいる魚の名前をどれだけ言えるでしょうか。かくいう私も飼育員になるまでは、夕飯で食べた魚の名前もわからない状態でした。

この夏、後輩のM君と、西田川と拾石川の採集調査をしてみました。西田川では15種類、拾石川では21種類の生き物を採集できました。その中には種類のわからない魚がいたのです。図鑑で調べて初めて知る魚。足元を知らない証拠ですね。中には河川工事などで極端に数を減らしている「アユカケ」という貴重な魚もいました。ブラックバスなどの外来種が4種類、外来植物は3種類を確認しました

し、西田川と拾石川では住んでいる生き物に若干の違いが見られることも知りました。そして残念ながら、川の汚さも再確認しました。

行ったこともない熱帯地域のきれいな魚のことを得意気に話すのは気分がいいのですが、足元を見つめ、同じ場所と同じ空気を吸っている生き物を知るといことは、同じ地域に住んでいる「命」を知るとい意味でとても大切なことだと痛感しました。